

令和6年度尾張旭市後期高齢者医療特別会計

歳入歳出決算認定について

討論要旨 樺原利宏議員

反対理由は、保険料の引上げが行われていることあります。答弁では、料率引上げによって、現年賦課分決算ベースで令和5年度9万7,002円でしたが、6年度には11万33円、13.4%の増大です。

この保険料は2年に一度上がります。8年度には保険料改定が待っていますが、子ども・子育て支援分が加わります。

また、窓口負担の負担増が行われており、2割負担の方が6年度末で3,587人と、全体の26.5%を占めるように至りました。1割負担の方は、63.3%まで低下をしております。2割負担の方の上限1割プラス3,000円だった配慮措置が今月末で終了し、10月からは文字どおり2割の負担に引き上げられます。

こうした負担増を押しつける後期高齢者医療制度は、このままでは未来の展望がありません。国庫負担を増やし、負担軽減を求めるべきと訴えて、討論を終わります。